

芙蓉総合リース株式会社

<https://www.fgl.co.jp/sustainability/environment/policy.html>



《将来に向けた取組方針》

芙蓉リースグループは、持続可能な社会の実現に向けて、常に地球環境に配慮した事業活動を実践し、「環境方針」に沿って環境問題への取り組みを推進しています。

「環境方針」は主に「環境保全に寄与する商品・サービスの提供」「省資源・省エネルギー活動の推進」「循環型社会構築への寄与」を掲げています。この方針の下、生物多様性保全に向けた取組を推進していきます。

環境保全に寄与する商品・サービスの提供

生物多様性に関する取組

芙蓉リースグループ会社の(株)アクア・アートは熱帯魚や水草を用いてレイアウトしたアクアリウムをレンタルにて提供しています。

アクアリウム水槽内に自然の生態系

水槽内は、魚の残餌やフンを微生物が分解し、それを肥料に成長した水草が光合成で酸素を出し、水が浄化され魚も元気に育つという自然の生態系サイクルが再現されています。

魚・水草は自社繁殖を推進

「SDGs関連プロジェクト」を立ち上げ、熱帯魚「プラティ」「グッピー」「コリドラス」「トーマシー」の自社繁殖およびメンテナンスで持ち帰った水草の再利用栽培を行い、魚と水草の一定量を購う体制を整えています。

絶滅危惧種の繁殖に成功

2020年秋に、日本固有の淡水魚「ニッポンバラタナゴ」の繁殖に成功しました。

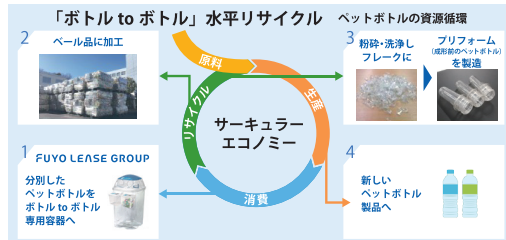
省資源・省エネルギー活動の推進

「ゼロウェスト活動」の推進

ゼロ・ウェスト活動では、オフィスから出るごみの発生量を抑制すること・資源として循環させることを通じて、最終的に廃棄物になるものを最小化させることを目指しています。

ペットボトルの水平リサイクル活動

使用済みペットボトルを新しいペットボトルにリサイクルする「ボトルtoボトル」の取り組みに参加しています。本社オフィスでは、社員一人ひとりが決められた分別をして透明の専用回収箱にペットボトルを入れ、それを新しいペットボトルに再生するサイクルに持ち込んでいます。



循環型社会構築への寄与

芙蓉サーキュラーエコノミーリース (CEリース)

リース物件を確実にリユース・リサイクルし、製品寿命の長期化・資源再生の向上を図る「芙蓉サーキュラーエコノミーリース (CEリース)」をサービスインしました。お客様は本商品を通じて、サーキュラーエコノミーに貢献することができます。また、リース取扱額の一定割合を、サーキュラーエコノミー推進諸団体に寄付しその活動を支援します。

